

■一般社団法人 鹿児島県作業療法士会 理事会 議事録

日時：令和6年7月22日（月）19：00～

場所：Web 会議

出席者：吉満・藤田・福永・西・田中・柳田・向江・住吉・橋口・黒木・酒井・坂下・寿・
平嶋・安藤

欠席者：中野

I. 報告事項

報告事項 1

提出者：田中有貴

士会内で立場：事務局長

報告：年会費納入状況について

内容：2024.7.19 現在総会員数 1170 名中 828 名（71%）納入済み

報告事項 2

提出者：田中有貴

士会内で立場：事務局長

報告：退会者について（1名）

内容：水流百香（ツルモカ）自宅会員 退職のため

報告事項 3

提出者：田中有貴

士会内で立場：事務局長

報告：後援依頼について

内容：下記1件の後援依頼を受託しました。

①鹿児島県保健福祉部薬務課麻薬係

「薬物乱用防止シンポジウム」

2024/10/2 開催カクイックス交流センター 7/17 返信済

報告事項 4

提出者：中野宏治

士会内での立場：学術部理事

報告：おおよその学会予算の試算が完成

*実際は当日のスタッフの参加人数により増減はあり得る。

内容：以下の表を参照

3. 事業名称:第33回県学会 2024年度

開催予定日:(9月7~8日)

(収入の部)

科 目	令和6年度	R6年度	摘 要
	予算額	決算予定	
研修会等収入			参加予定者 名× 円
協賛費、広告料等		¥90,000	
合計	¥0	¥90,000	

(支出の部)

科 目	令和6年度	R6年度	摘 要
	予算額	決算予定	
賃貸料	¥76,500	¥160,000	会場費現時点なし
諸謝金	¥47,175	¥140,000	現時点なし
会議費	¥142,800	¥270,000	
旅費交通費	¥267,334	¥463,000	講師・スタッフ交通費、日当
消耗品費	¥42,500	¥10,000	学会備品
通信運搬費	¥91,800	¥0	15名の90分会議×5回した場合
福利厚生費	¥25,500	¥13,000	研修会当日の弁当代
渉外費	¥25,500	¥30,000	講師弁当代、お菓子、水代
印刷製本費	¥85,000	¥264,898	ポスター制作費と印刷費
その他	¥221,000	¥0	23名 会議費(日当2日分)+備品3万
合計	¥1,025,109	¥1,350,898	

【活動報告】

I. 県学会

1. 第33回鹿児島県作業療法学会

- 1)学会長：豊永 峻 氏 (鹿児島大学病院)
- 2)開催日：令和6年9月7~8日 (土・日)

3) 会場：鶴陵会館

4) テーマ：作業療法の評価、治療を見つめなおす

5) 講演

(1) 会長講演：豊栄峻（鹿児島大学）

(2) 特別講演：高橋香代子氏（北里大学）

(3) 教育講演①：野中信宏氏（愛野記念病院）

(4) 教育講演②：西祐樹氏（長崎大学）

(5) シンポジウム：夏目恵介氏（鹿児島大学病院：主任）

壱岐尾優太氏（長崎原爆病院）

6) 学会形式：ハイブリッド開催

7) 発表形式：ポスター発表（発表者は、5分間の概要を口述形式でプレゼンテーションする。その後30分

8) その他：

- ・演題登録：最終演題数20演題となり、すべて採択された
- ・現在抄録集を作成中である。今月中～1か月前（8/8）までの完成、公開を目指している
- ・学会ホームページを立ち上げを行っている
- ・広告について

企業広告：4件：鹿児島医療技術専門学校、（株）北義肢製作所、伊藤超短波株式会社、有限会社平成メディアカル

病院広告：3件：医療法人 三州会 大勝病院、社会医療法人 慈生会、いちき串木野市医師会立脳神経外科センター

計 収入 10 万円

2. 第34回鹿児島県作業療法学会

学会長：前畑 竜郎 氏（大口病院）（令和7年度・夏～秋予定）

II. 学術誌

2. Vol.31

1) 特集：テーマ「鹿児島における作業療法士の可能性」

内容：新しい領域で働いている作業療法士の活動について

執筆者（1）司法領域・医療観察病棟：県立始良病院スタッフ

（2）労働領域：坂元ゆかり氏（ハローワークかごしま）

（3）市議員：辻本貴志さん（枕崎市議員 作業療法士）

（4）産業リハ領域：平城氏（Mellow Amami）

2) 論文投稿数：現在4題（新規投稿数：0件、査読中3題、採択1題）著変なし

論文投稿の広報を行う

Ⅲ. 研究支援事業

1. 研究法研修会：令和6年度研修会テーマ案：5回を予定

初学者対象、基本は平日夜、19：30～21：00に実施予定

第1回研究法研修会

日時：令和6年7月19日(金) 19:30～21:00

タイトル：やってみたら、意外とカンタン！私もできる、事例報告・症例報告

場所：ZOOMを使用したオンライン研修

講師：黒木 辰朗 氏 神村学園専修学校 副校長 会員番号：10051

対象者：指定なし

内容：初めての院内発表や事例報告に向けて、文章としてまとめるために情報を整理し、一貫性をもって分かりやすく提示することを目指す。

1. 事例報告と事例研究、2. 事例報告の目的、3. 事例報告のまとめかた、4. 事前にすべきこと
5. 作成上の注意点、6. 報告書の書き方、7. まとめ

参加者：32名（申し込み者数：38名、欠席者6名）

第2回研究法研修会

日時：2024年8月20日(火) 19:00～20:30（*18:30～受付開始）

タイトル：日々の臨床から研究を始めよう -研究テーマの決定から研究計画書作成まで-

会場：個別 web

講師：窪田 正大 氏（鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻 教授）会員番号 3461 受講

対象者：指定なし

内容：研究をしたことがない方でも、臨床疑問から紐解き、研究へと進むためのプロセスを学ぶことで、研究を行う大まかな流れを理解し、研究を身近に感じられるようにする必要があります。そのため、臨床疑問から研究計画書作成までの方法を提示することで、研究の始め方を理解し深めていくこととする。

3) 第3回研究法研修会

研究の流れ（進め方）②：事例を通して研究デザインを学ぶ

日時：10月予定

講師：鎌田浩明氏（鹿児島医療医術専門学校）

4) 第3回研究法研修会

研究の流れ（進め方）③：研究計画書の書き方、研究計画書の演習

日時：12月6日（金）

講師：矢野 幸治先生（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

5) 第3回研究法研修会

研究スタイルを事例で学ぶ

日時：2月予定

講師：四元孝道氏（九州栄養福祉大学）

2. 研究相談会：広報を行う

3. 課題研究助成制度：

1) 令和4年度

研究助成承認：加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ：中枢神経系疾患を伴う対象者に対し、手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間：令和4年6月～令和6年5月まで 制度を終了した

6月に会計報告を提出してもらう予定であったが、遅れている。

今後は、任意の学会での報告と学術誌作業療法鹿児島に投稿してもらう

2) 令和6年度の募集を広報する

IV. 学術部コンテンツ

・特になし

【審議事項】

議題1

テーマ：現在の規定の枠組み（金額や基準）では当てはまらないことについて

提出者：先成

内容：

①学会長は、会議費の基準の中で、部員としてしか枠組みがなく、部長または理事レベルではないか？

②渉外費で、懇親会の金額設定が3500円であるが、近年の物価高騰により飲食店も値上がりしている傾向にある。学会に限っては上限を5000円とできないか？

・ホストも学会に限っては2名（1名追加）できないか？毎年、学会運営が大変になってきている。

< 渉外費の現行 >

研修会講師の接待での講師飲食費用について

支部の勉強会は、外部講師名（3500円）とホスト名（3500円）分支払可能。領収書は支部の食事代として7000円で処理する。

県学会においては、3500円×講師人数会長（3500円）学会長（3500円）ホスト名（3500円）まで支払可能。
領収書は会長行動費で合計金額を書き、処理する。

報告事項 5

提出者：橋口信洋

士会内での立場：渉外部理事

報告：2024年度第一回地域事業支援会議参加

内容：参加者→吉満会長、橋口、向江

- 1) 鹿児島県の課題：①全市町村へのOT配置、非会員単独での市町村との業務委託
②地域包括ケアシステムの障害福祉分野での取り組み
③組織率
④POS連絡協議会とのOT協会の連携
- 2) 今後、会議を開催予定。

報告事項 6

提出者：坂下寛志

士会内での立場：広報部理事

報告：ホームページ進捗状況

内容：資料参考

サイバーウェブに情報提供できている箇所、できていないページの周知・報告

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1QZhXtTdXpDxjx4_IDt7UiuDPit_ewmUG/edit?usp=sharing&ouid=105115571024209214217&rtpof=true&sd=true

→7月26日（金）ホームページ打ち合わせ 各理事参加をお願いします

報告事項 7

提出者：吉満

士会内での立場：会長

報告：第2回IKOT定例会

内容：

1. **IKOT 通信**

- 通信は定例会情報や参加者の独り言、推しグルメなどを掲載する。
- アンケートを実施して内容を確認し、発行準備を進める。
- 作成担当は岩手、鹿児島、沖縄の順。

2. **沖縄県学会の報告と議論**

- 第19回学会で「作業療法の強みを知り・活かす 同心協力」をテーマに開催。
- 基調講演、ヤングリーダーズ・エキスパートセッション、スプリント作成ブース、領域別交流会を実施。
- 反省点として音声問題や参加者数が目標に達しなかったことが挙げられた。
- 学会スタッフの動員、準備期間、役割分担、サテライト/オンライン対応について議論。

3. **魅力ある研修会のための議論**

- 各県の研修会形式、参加費、非会員や休会中会員の扱いについて議論。
- 新人向け研修会の案内方法や3県の研修会の相互乗り入れについて共有。
- 現職者共通研修と臨床実習指導者講習会の相互乗り入れも検討。

4. **次回定例会**

- 岩手のJRAT活動報告を予定。
- 次回のテーマ募集。

5. **その他事項**

- IKOTのロゴが作成。
- 鹿児島学会のセッションは会長で決定。
- 研修会の相互乗り入れについてリスト化する。
- 次回定例会の日程は後日相談。

9/8AM IKOT 交流会時に開催を検討

II. 議案

議案1

議案：新入会員について（9名）

河本梓（カワモト アズサ）鹿児島生協病院

渡島隼司（トシマ ジュンシ）奄美医療共同組合 98390 再入会

森尚子（モリ ショウコ）自宅会員 69214

川上凜（カワカミ リン）徳之島徳洲会病院 128296

齋藤綾乃（サイトウ アヤノ）キラメキテラスヘルスケアホスピタル

下瀬藍香（シモセ アイカ）垂水市立医療センター垂水中央病院 97988

矢野竜聖（ヤノ リュウセイ）緑泉会米盛病院 96202

中村友香（ナカムラ トモカ）医療法人敬愛会中江病院 88916

立原美紗妃 (タハラ ミサキ) 田上記念病院

県オリエンテーション新規入会者 (25 名)

- 1 黒木 織香 クロキ オカ 垂水中央病院
- 2 松本 穂乃香 マツモト ホノカ 隼人温泉病院
- 3 田上 雄斗 タノウエ ユウト 希望ヶ丘病院
- 4 角 海人 カク カイト クオラリハビリテーション病院
- 5 下須 友飛 シモス ユウト クオラリハビリテーション病院
- 6 中村 琉星 ナカムラ リュウセイ いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
- 7 二反田 健斗 ニタンダ ケント チャイルドクラブあおぞら
- 8 中西 斗亜 ナカニシ トア 大隅鹿屋病院
- 9 當金 里玖 トウキン リク 大勝病院
- 10 伊藤 麻尋 イトウ マヒロ 米盛病院
- 11 井川 瑠磨 イワリ リュウマ 米盛病院
- 12 南土居 明惟 ミナトイ メイ 米盛病院
- 13 福岡 彩麗 フウカ カレン 南鹿児島さくら病院
- 14 有村 彩花 アリムラ アヤカ 豊島病院
- 15 西 幸奈 ニシ ユキナ キラメキテラスヘルスケアホスピタル
- 16 池野 美月 イケノ ミヅキ 青雲会病院
- 17 木佐貫 洸 キサヅキ ヒカル 谷山病院
- 18 片野坂 響 カタノサカ ヒビキ 上町いまきいれ病院
- 19 江藤 楓真 エトウ フウマ アクラス中央病院
- 20 福田 琉貴 フクダ リュウキ 八反丸リハビリテーション病院
- 21 仮屋 芽生 カヤ メイ 八反丸リハビリテーション病院
- 22 川口 幸太 カガクチ ユウタ オレンジ学園
- 23 白谷 汐音 シラタニ シオン 田上記念病院
- 24 川越 心愛 カゴエ コア ウェルフェア九州病院
- 25 小浜 結花 コハマ ユカ 厚地リハビリテーション病院

決議事項：承認

議案 2

提出者：中野宏治

士会内で立場：学術部理事

議案：現在の規定の枠組み（金額や基準）では当てはまらないことについて

1. 学会長は、会議費の基準の中で、部員としてしか枠組みがなく、部長または理事レベルではない

か？

2. 渉外費で、懇親会の金額設定が 3500 円であるが、近年の物価高騰により飲食店も値上がりしている傾向にある。学会に限っては上限を 5000 円とできないか？

3. ホスト（準備委員長）も学会に限っては 2 名（1 名追加）できないか？毎年、学会運営が大変になってきている。

渉外費の現行

決議事項：1. 次年度からは、学会長の会議費は部長/委員長のクラスとする

（部員は 800 円・部長委員長は 1000 円・九州学会は一律一回の会議で 200 円である。）

学術部の当初予算は、1,298,810 円（公開講座は予算に含まず）

今回の予算 UP は公開講座の 10 万円が含まれる。

また、予算が 135 万円を超える予測である。

2. 渉外費 5000 円×9 名（講師 6・会長 1・学会長 1・準備委員長 1）=45,000 円となるが、予算案を出し直してからチームス内で検討。

3. 来年度より準備委員長のみでなく、副準備委員長を立てる事は継続議題とする。

*2. 3. に関しては、既定の変更が必要である。決定次第変更する。

議案 3

提出者：中野宏治

士会内での立場：学術部理事

議案：研修会講師の接待での講師飲食費用について

①支部の勉強会は、外部講師 1 名（3,500 円）とホスト 1 名（3,500 円）分支払可能。領収書は支部の食事代として 7,000 円で処理する。

②県学会においては、3,500 円×講師人数+会長（3,500 円）+学会長（3,500 円）+ホスト 1 名（3,500 円）まで支払可能。領収書は会長行動費で合計金額を書き、処理する。

上記 2 点に関して、意見を頂ければと思います。

決議事項：①講師接待があるのは、県学会とし、公開講座等は予算立し理事会にて審議する。

金額上限は後日。

②は議案 2 と同じ内容である。

議案 4

提出者：坂下寛志

士会内での立場：広報部メディア事業班

議案：メールアドレスの運用・管理について

- ・公式なメールアドレスとして局・部毎で運用するか否か
- ・県士会ホームページ上で部局員の募集の際に、部・班ごとでは今は登録をしていない部、班があるが局毎での管理でいいか

現在、登録メールアドレス

		メールアドレス
1	県士会ホームページ	ot-kag@kagoshima-ot.jp
2	会長	k.yoshimitsu@kagoshima-ot.jp
3	副会長	k.fujita@kagoshima-ot.jp
4	副会長	k.hukunaga@kagoshima-ot.jp
5	副会長	n.aya@kagoshima-ot.jp
6	事務局長	y.tanaka@kagoshima-ot.jp
7	坂下寛志	h.sakashita@kagoshima-ot.jp
8	中野宏治	k.nakano@kagoshima-ot.jp
9	教育・学術局	academic@kagoshima-ot.jp
10	地域局	management@kagoshima-ot.jp
11	事務局	general.affairs@kagoshima-ot.jp
12	企画局	planning@kagoshima-ot.jp
13	保健・福祉局	health.welfare@kagoshima-ot.jp
14	自動車運転・・・検討委員会	kagoshima.unten@kagoshima-ot.jp

決議事項： mail アドレスの運用は、局や部ではなく稼働している班で作成して欲しい。
共有は可能であるが、返信したかなど確認できないので役割分担が必要です。
運用は各班に応じて利用してください。

提出者： 坂下寛志

士会内での立場： 広報部メディア事業班

議案： ホームページの理事・代議員の顔写真掲載について

写真を掲載もしくはイラスト加工での掲載の有無

個人情報やセキュリティー面を考慮すると。。。

写真掲載ではなく、イラストなど加工されたものをアップする方がいいのでは。。。

決議事項： HP の写真掲載は、親近感が出てよい。掲載するかと、写真かイラストかも任意。

掲載する写真はかしこまらなくてよい。7月末までに坂下にデータを送る。

7月26日19時30分～ HPの打ち合わせ（参加できない方は坂下へ）

議案6

提出者： 吉満

士会内での立場： 会長

議案： 研修会の IKOT 間相互乗り入れ、第2回 IKOT 定例会について

各部局でリスト作成をお願いします。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1qft9w0midw4NdrSTwerwUTmxiWeDEkxMZRJ1cQqCnQ/edit?usp=sharing>

- 次回定例会の日程は後日相談。

9/8（日）AM IKOT 交流会時に開催を検討 理事・部長級には対面参加を要請したい。

鹿児島県作業療法学会 HP

<https://sites.google.com/view/kagoshima-ot-kengakkai2024/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

決議事項： 共有できる研修会は、リストを入力をする。

他県はオンライン・鹿児島は対面（理事や部長クラスは参加をお願いします）

学会に関して、基本的に理事は参加するようにお願いします。

2 カ年計画の発表

- ・ 教育部
- ・ 事業部

その他

IV. 次回会議

令和6年8/19（月）19時～